



## 議決権行使は企業のESGへの説明責任にどのように貢献するか

- 議決権行使は、企業の重要課題への対応に資産運用会社が意見するための重要な手段

**資産運用会社が上場企業株を多く保有している場合、その議決権行使は相応の影響力を持ち、企業行動に直接インパクトを及ぼします**

企業のESG（環境・社会・ガバナンス）に対する取り組みが注目される中、議決権行使がファンドマネジャーを選ぶ際の重要な判断材料となっています。

RBC Global Asset Management (RBC GAM)のコーポレート・ガバナンスと責任投資チームのヘッドであるメラニー・アダムスは、「議決権行使は、責任投資において重要性が高まりつつある分野です」と述べています。

「これまで、ほとんどの投票内容はガバナンス関連に集中してきました。しかし、ここ数年、環境・社会関連の株主提案が増えてきています。」

株主は長期に亘り、取締役の再任、役員報酬などの従来型のガバナンス関連を含め、会社の経営陣が提出する議案に対しての議決権行使に関与してきました。しかし最近では、多くの株主が、多様性の確保や気候変動に関する情報開示など、より広範なESGに関する議案を提出するようになりつつあります。

議決権行使は、すべての投票内容を分析・調査する必要があるため、多くのリソースを割かなければなりません。しばしば、そのための専門のリソースを必要とし、困難な作業となる場合もあります。

**議決権行使はエンゲージメントと併せて効果を発揮します**

資産運用会社が議決権行使を行う方法は様々ですが、その多くは、一般的な責任投資ツールであるエンゲージメントと併用して行っています。

RBC GAMのコーポレート・ガバナンスと責任投資チームのシニア・マネージャーであるデレック・ブッチャーは、「エンゲージメントと議決権行使を併用することは、運用会社にとって効果的なスチュワードシップツールとなり得る」と述べています。「エンゲージメント主導のアプローチを好む運用会社もあり、議決権行使に至る前に常に取締役会とエンゲージメントを行っています。また、企業とのエンゲージメントを促す手段として議決権行使を利用する運用会社もあります。

最適なアプローチは、運用会社、さらにはポートフォリオによって異なります。それは投資企業のポジションサイズからポートフォリオでの保有銘柄数といった様々な要因によって左右されるからです。

小規模な資産運用会社では、直接的に多くのエンゲージメントを行うためのリソースがない場合もあります。しかし、規模が小さいにもかかわらず、エンゲージメント・プログラムを開発し、大手企業とのエンゲージメントを実現している企業もあります。また、投資家にとって重要な議題について株主投票によるイニシアティブを進めたり、同じような考えを持つ投資家と共に、企業と意見を交換する共同エンゲージメントに注力することもあります。

ほとんどの資産運用会社のウェブサイトには、議決権行使やエンゲージメント戦略に関する詳細な情報が掲載されており、顧客がその内容を知ることができるようになっています。

今年の年次株主総会シーズンでは、議決権行使は、間違いなく気候変動に焦点を当てたものになるでしょう。しかし、役員報酬は、パンデミックの期間から引き続き、注目の集まるテーマとなるでしょう、とブッチャーは述べています。

資産運用会社がどのようにこれらの活動に取り組んでいるかを知りたい方は、議決権行使やエンゲージメント活動に関する報告書を見ることができます。また、公開されている場合は議決権行使の結果を検索することもできます。

## 投資家の責任投資の目的達成に貢献

責任投資に関心のある投資家は、資産運用会社がエンゲージメントや議決権行使を利用して、ESGを投資プロセスに取り込んでいることを評価するかもしれません。しかし、これは一つのアプローチに過ぎません。投資アドバイザーにとっての課題は、投資家の責任投資に関する目標を達成するために最適なアプローチを見つけることです。

例えば、全てのセクターでベストインクラスのESG企業に投資したいと考える投資家もいるでしょう。また、石油・ガスといった温室効果ガスを多く排出する産業から投資を撤退させる、クリーンテクノロジーに焦点をあてる、また特定のテーマ別戦略を求める投資家もいるでしょう。

「私たちは、ESGテーマに対する企業の取り組みに懸念がある場合、売却を検討する前に、まずはその企業とエンゲージメントを持つべきだと考えています」と、アダムスは述べます。

資産運用会社は、企業の経営陣や役員との関係構築に努め、二酸化炭素排出量の報告など、より良いESG情報開示を行うべき理由について納得してもらえよう取り組んでいる、とアダムスは言っています。

「私たちは、ESGを、付加価値を生む機会として捉えています。なぜなら、企業が重要な問題について改善の余地がある場合、それはポートフォリオの長期的なパフォーマンスにつながる可能性があるからです」とアダムスは述べています。

エンゲージメントに加えて、議決権行使の重要性も軽視できません。株主が重要だと考える問題に対処するよう、経営陣にメッセージを送ることができるためです。

これは、取締役会のメンバーの再任や、報酬に関する議決権行使によく見られます。資産運用会社は、これらの議案に賛成票を投じたり、反対票を投じたりすることができますが、その際には、エンゲージメントを通じて求めていた改善の進捗状況が、議決権行使判断に影響を与える可能性があります。

エンゲージメントと議決権行使は、資産運用会社やポートフォリオのパフォーマンスにとってますます重要となってきている気候変動や多様性といった問題について、資産運用会社が企業の責任を追及するための実用的な戦略なのです。

重要なのは、資産運用会社がこのようなツールをどのように利用しているか、また、その戦略がその投資家のニーズに合致しているかどうかについて洞察を与えることです。ブッチャーは述べています「この理解こそが本当の出発点なのです。」

## ディスクレーマー

---

当資料は、RBC Global Asset Managementの一部であるRBC Global Asset Management (UK) Limitedによって提供された情報を元に、RBC Global Asset Managementの関連会社であるブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッドが編集したものです。当資料は受領者への情報提供のみを目的としています。当資料の全部または一部を複製することはできません。また、RBC Global Asset Managementの同意なしに他人に配布することもできません。当資料は、証券またはその他の金融商品の売買または投資戦略への参加の申し出を勧誘するものではなく、税務または法律上の助言として解釈されるべきではありません。ここに記載されているすべての製品、サービス、または投資がすべての法域で利用できるわけではなく、地域の規制および法的要件により、一部は限定的にのみ利用できます。

過去の実績は将来の結果を示すものではありません。このレポートに含まれる情報は、RBC Global Asset Managementおよび/またはその関連会社によって、信頼できると思われる情報源から編集されていますが、その正確性、完全性、または正確性について、明示または黙示を問わず、表明または保証は行われません。すべての投資で、投資額の全部または一部が失われるリスクがあります。

この資料には、RBC Global Asset Managementの現在の意見が含まれており、特定のセキュリティ、戦略、または投資商品の推奨を意図したものではなく、またそのように解釈されるべきではありません。特に明記されていない限り、ここに記載されているすべての情報と意見は、このドキュメントの日付時点のもです。ここに記載されているすべての情報および意見は、予告なしに変更される場合があります。

RBC Global Asset Management (RBC GAM) は、カナダロイヤル銀行 (RBC) のアセットマネジメント部門であり、RBCグローバルアセットマネジメント (US) Inc. (RBC GAM-US)、RBC Global Asset Management Inc、RBC Global Asset Managementが含まれます。(UK) Limited、BlueBay Asset Management LLP、BlueBay Asset Management USA LLC、およびRBC Global Asset Management (Asia) Limitedは、別個ですが、関連する企業体です。

RBC Global Asset Management (UK) Limitedは、金融行動監視機構によって認可および規制されています。

®/™ Trademark(s) of Royal Bank of Canada.



Global Asset Management  
BlueBay Asset Management